

こども委員会のよりみちコラム

今回の担当：二階堂 静

書いた日：2023年3月1日

みなさん、こんにちは。今年度最後のコラム担当はこどもも成人してこの先の人生をどう楽しんでいこうかと悩んでいる私こと二階堂静（うっかりOT）が担当します。

最近、私の友だちが住んでいる地域の「こども教室」の指導員をしていると聞き、どんなところなのか見に行ってきました。週1回2時間、こどもの居場所作りを目的に開いているそうです。指導員の方々は地域にお住まいの大人たちで、この時間の主役はこどもたち、大人は黒子に徹しています。コロナ禍もありこどもたちが大きな声をあげて全力で遊んでいる様子を見る機会が少なかったので、この日全力で遊ぶこどもたちの姿に元気をもらいました。

作業療法は対象となる方の「日々の営みを支援」するのですが、こども教室の中で、こどもが「こどもらしく」遊ぶために大人はこどもの考えたことに口を出さないなど、「こどもーおとなーあそび」の三者がプラグマティックな営みをしながら今に至っているのだなあと考えさせられました。

今は主語を「こども」にして考えていましたが、主語を「おとな」、「あそび」と変えるとまたたくさんのお考えが出てくると思います。普段の暮らしから作業療法のことを考えてみるのも楽しいですよ。

そんなコラムは来月も続きます☆お楽しみに～^^♪

